



shibokusanpou

一闕を照らそ
う 5月号

364号
毎月28日発行

E-mail:info@tougakuin.jp



折りふしのはな

おだまき

"しづやしづ しづのおだまき
くりかえし"

静御前の有名な句ですが
おだまきの花は

うつむいて咲いている
とばかり思っていました

上方に突起があり
市女笠みたいに見えてきて

頬朝の前で舞を舞う
静御前の姿を

彷彿とさせてくれました

自然の妙

四月二十八日は当山にとつて昔より「大般若經轉讀大護摩供」が奉修されます大切な日であります。いつからこの日が決められたのかは解りませんが、春の佳き日、「つつじ」も咲き、不動明王の縁日と合わせて、賑やかに奉修されます事を願つたものと思われます。

「大般若波羅密多經」は、唐の玄奘三藏が約三万kmを十七年の歳月に渡り、未開の地を命懸けで歩き、インドより唐の国に持ち帰られた尊いお経です。その後、四年かけて翻訳されその巻数は六〇〇巻、字数は六億四千万字。これに目を通すだけでも大変有り難く、ご利益があるのです。玄奘三藏は、翻訳後百日で亡くなられました。

この經典を轉讀する法会は、日本では奈良時代から行われていてと「日本書紀」にもあります。僧侶が經巻をひもとき、一巻、三蔵法師奉詔訖」と大声で唱え、轉讀が始まり、本堂内の僧侶と一緒に六百巻を轉讀します。最後に經巻をもつて「降伏一切大魔最勝成就」と言いながら經巻で經机をたたきます。

この作法は、「すべての災いや悪を祓い、とり除き、人々の願いをかなえて幸せに導いてほしい」という意味で、一人一人の災与樂を祈る意味があるのであります。

このお經を轉讀する際に唱える言葉があります。

諸法皆是因縁性

因縁生故無自性

無自性故無去來

無去來故無所得

無所得故畢竟空

畢竟空故是名般若波羅密

成一と名づける

というものです。

結局空なのでこれを般若波羅密一智慧の完

成一と名づける

というものです。

この偈文には大般若經六百巻の教えが凝縮されています。また、この偈文の変わりに「般若心經」の最後の呪(ギヤーティ・ギヤーティー)を唱えることもあります。このことから「般若心經」は六百巻のエッセンスとも言われているのです。



等覚院に江戸時代から続く「不

動尊ご巡行」を題材にしたドキュメンタリー映画『旅する不動明王』の製作費を募るクラウドファンディングは、5/12〆切。寺務所でも直接承ります。副住職まで。郵送・振込可。ご信援の程よろしくお願ひを申し上げます。(副住職記)

5/18(土) 月例(※要事前申込)
「止観(坐禅)会」9:30-10:30(¥500)

五月行事案内
◎五月八日 午後二時 薬師如来大護摩供修行
◎五月十二日 午後二時 智泉院法要日(於・日本橋茅場町)
◎五月十八日 午後二時 観音經読誦法要(於・神木觀音堂)
◎五月二十八日 午後二時 不動明王大護摩供修行

*毎朝六時より公開で朝のお勤めをしております
ご都合のよろしい時には、ご一緒にどうぞ

